

# バスケットボール部女子は創部初、男子は46年ぶり!

# 全日本8位



今年のバスケットは熱かった! トボール部男女がアベック全国8位の偉業を成し遂げた。SG横澤拓海主将(経4)率いる男子は46年ぶりの快挙。主体性を求め続け、高い組織力を築き上げた。SG木原恵奈主将(法4)率いる女子は創部初、日本一を目標に掲げ、スローガン「進化」今こそ変わる」を体現した。4年生の思いを受け継いだ男女バスが、これからも躍進し続ける。



7、8位決定戦後、カメラに向かい笑顔を見せる選手たち【切り込み写真】鋭いドライブで切り込む木原

明大戦終了後、涙する池嶋(中央)を笑顔で取り囲む選手たち【切り込み写真】得意のクイックシュートを放つ横澤

## 日本一目指し進化した

回戦	対戦校	スコア
1	東海大九州	77○53
2	日経大	62○48
準々決	早大	64●83
順決1	愛知学大	82●93
7・8決	筑波大	75●82

## バスケット

## どん底乗り越えた組織力

回戦	対戦校	スコア
1	香川大	97○66
2	明大	73○69
準々決	専大	66●88
順決1	名経大	55●61
7・8決	早大	49●60

# 木原女バス

◆関西学院大学体育会バスケットボール部女子 1995年(平7)に体育会へ加入。2015年に初めて上位リーグに進出した。インカレ出場回数6回で、3年連続となった今大会は8位が最高成績。今年度は創部初の全関西準優勝や、リーグ戦3位、近畿総合3位など歴史を塗り替えた。

### 4年生が主役

夢を与え、歴史を塗り替えた。目標の日本一に届かずも、創部初のベスト8入り。木原は「高い目標を設定したから、見えた景色がある」と成長を実感。スローガン「進化」今こそ変わる」を掲げた変革の1年は笑顔で締めくくられた。4年生が集大成を見せた。初戦の東海大九州戦で、初スターのC新宅(社4)がチームトップの15得点。2回戦では九州女王の日経大に木原が5本の3Pシュートを含む17得点を挙げ、主将自ら8強入りを手繰り

### 木原女バスの1年間



### 5月 全関西 準優勝



### 6月 西カレ ベスト8



### 10月 リーグ 3位

◆関西学院大学体育会バスケットボール部男子 1926年(大15)に運動部(現体育会)に正式加入。インカレ出場回数は31回で、今大会の8強入りは1970年(昭45)以来46年ぶり。今年度は18年ぶりリーグ制覇、55年ぶり全日本総合1回戦突破など歴史を刻んだ。

池嶋不在でも 待ち焦がれた景色が目の前に広がった。試合終了と同時に、歓喜の声を上げて抱き合う仲間たち。横澤主将は「プサーが鳴って、やっと勝利を実感した」と安堵(あんど)の笑顔を浮かべた。46年ぶりに8強の歴史を刻んだ。

絶対絶命の状況で勝ち切った。8強入りに立ちほだかったのは前年インカレ6位の明大。8点を追う第3クォーター(Q)、リーグ戦 MVPのPF池嶋(入4)が4ファールでベンチに下がった。だがチームは揺るがなかった。

新たな壁を糧にする。「ベスト8は組織力で到達できるが、ベスト4には個の力が必要。もっとEを目指してほしい」。築き上げた組織力と個々の能力で、未知なる世界へ。関学男バスはまた一つ強くなる。(岩井敦子)

# 横澤男バス

### 空前絶後の才超絶怒涛の関学バス

寄せた。順位決定戦1回戦の愛知学大戦はPF佐藤(社4)がキャリアハイの42得点と大暴れ。前年の創部初の初戦突破を大きく上回り、石橋コーイチは「4年生の一人一人が主役になってくれた」と笑顔で称賛した。日本一にふさわしいチームを目指した。1年前、4年生が代々木体育館で同大会決勝戦に心を打たれ「この舞台に立つ」と決意。頂点を目指すため、全てを日本一基準にした。プレー面では、八角学生コーチ(文4)を中心に補食を取り入れるなどフィジカル強化。クールダウンの時間を設け、

### 池嶋不在でも

待ち焦がれた景色が目の前に広がった。試合終了と同時に、歓喜の声を上げて抱き合う仲間たち。横澤主将は「プサーが鳴って、やっと勝利を実感した」と安堵(あんど)の笑顔を浮かべた。46年ぶりに8強の歴史を刻んだ。

絶対絶命の状況で勝ち切った。8強入りに立ちほだかったのは前年インカレ6位の明大。8点を追う第3クォーター(Q)、リーグ戦 MVPのPF池嶋(入4)が4ファールでベンチに下がった。だがチームは揺るがなかった。

新たな壁を糧にする。「ベスト8は組織力で到達できるが、ベスト4には個の力が必要。もっとEを目指してほしい」。築き上げた組織力と個々の能力で、未知なる世界へ。関学男バスはまた一つ強くなる。(岩井敦子)

### 池嶋不在でも

待ち焦がれた景色が目の前に広がった。試合終了と同時に、歓喜の声を上げて抱き合う仲間たち。横澤主将は「プサーが鳴って、やっと勝利を実感した」と安堵(あんど)の笑顔を浮かべた。46年ぶりに8強の歴史を刻んだ。

### 横澤男バスの1年間



### 5月 全関西 4位



### 6月 西カレ 初戦敗退



### 10月 リーグ 優勝

### 男女でオールジャパン

インカレで8強に入ったため、1月に行われた全日本総合に男女ともに出場した。男子は九州代表東海大九州を延長戦の末95-87で下し、聖地・代々木で55年ぶりに1回戦突破。2回戦はBリーグ推薦順位11位の京都ハンナリーズと対戦し、49-104で敗退した。創部初の出場となった女子は、東北代表山形銀行と対戦し、61-96で敗退。歴史的快挙に導いた改革世代の1年が幕を閉じた。



### 1月 オールジャパン 1回戦突破